

## 第 二 外 科

### 【目的】

第二外科での実習対象症例は主に消化器外科（肝胆膵外科、上部消化管外科、下部消化管外科、内視鏡外科など）と移植外科（肝臓移植、腎臓移植、膵臓移植）であるが、治療対象の疾患のみにとらわれる事なく、術前・術後の全身管理を計画的、系統的に行うことを体験する。

### 【実習の重点】

臨床実習 I での初歩的な診察、手術への参加からさらに進んで

- 1) 術前の検査データ解析、画像診断による全身状態および病態の評価
- 2) プレゼンテーション技術の習得
- 3) 術前・術後の全身管理
- 4) 基本的手術手技の習得とより高度なテクニックの学習
- 5) 病棟内指示系統を学び、医療スタッフとのコミュニケーション術の習得
- 6) 患者へのインフォームドコンセントならびにメンタル面の管理
- 7) 医学研究（トランスレーショナルリサーチ）カンファレンスへの参加などの項目について、卒後5～10年目の中堅クラスの外科医に1対1について実習を行うシャドウプログラムを採用することにより、主治医と同じ立場で医療現場を体験し、自ら考え意見を発して積極的に議論に参加してもらい、卒後研修での即戦力、実践力を養うとともに外科学の幅広さと深さを体感してもらう。また、希望者においては、関連病院外科（県立広島病院、呉医療センター、中国労災病院、東広島医療センター）での5日間の臨床実習も経験できる。※ 県立広島病院以外は宿泊施設あり

### スケジュール

	午前	午後
月 ※	カンファレンス、回診、病棟	病棟
火	病棟回診、手術	手術、病棟
水	病棟回診、病棟	病棟
木	カンファレンス、回診、手術	手術、病棟
金	カンファレンス、総回診、病棟	回診、病棟

注) カンファレンスでは、術前・術後症例のプレゼンテーションを経験する。

※ 初日の集合場所は 10:30 臨床管理棟 6F カンファレンス 1。直前に広大メールにてスケジュールの詳細を連絡する。

## 【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
手術の流れを把握し、術者と助手の役割について理解	10
周術期全身管理に必要な知識を理解	10
外科的処置（清潔操作、ガウンテクニック）に必要な知識と手技	10
外科基本手技（糸結び、皮膚縫合など）の理解と実践	10
理学的所見（腹部所見）の診断と報告	10
担当した主要疾患に関する血液検査、画像診断の理解	10
担当した主要疾患の症候、病態、診断、治療方針、術後合併症の理解	10
担当した主要疾患のガイドライン、EBM の理解	10
患者、家族、医療スタッフとのコミュニケーション能力	10
プレゼンテーション能力	10

## 【担当教官】

大段 秀樹	教授	(肝胆膵外科、移植外科、上部・下部消化器外科)
田邊 和照	教授 (保健学科)	(上部消化器外科)
小林 剛	准教授	(肝胆膵外科、移植外科)
井手 健太郎	講師	(肝胆膵外科、移植外科)
大平 真裕	助教	(肝胆膵外科、移植外科)
田原 裕之	助教	(肝胆膵外科、移植外科)
黒田 慎太郎	助教	(肝胆膵外科、移植外科)
下村 学	助教	(下部消化器外科)
奥田 浩	准教授 (寄付講座)	(下部消化器外科)
佐伯 吉弘	助教 (寄付講座)	(上部消化器外科)
清水 誠一	助教 (寄付講座)	(肝胆膵外科、移植外科)
坂井 寛	助教	(肝胆膵外科、移植外科)
矢野 琢也	助教 (寄付講座)	(下部消化器外科)
中野 亮介	助教	(肝胆膵外科、移植外科)
本明 慈彦	助教 (寄付講座)	(肝胆膵外科、移植外科)
赤羽 慎太郎	医科診療医	(下部消化器外科)

築家 恵美 医科診療医 (上部消化管外科)

望月 哲矢 医科診療医 (下部消化管外科)